

愛称：グリーン・ワールド

アムンディ環境・気候変動対策ファンド

追加型投信／内外／株式

第 5 期

(決算日 2023年9月25日)

作成対象期間 (2023年3月28日～2023年9月25日)

第 5 期末 (2023年9月25日)	
基準価額	11,334円
純資産総額	18,069百万円
第 5 期	
騰落率	11.0%
分配金 (税込み)	400円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、アムンディ・グループが運用する投資信託証券への投資を通じて、主として環境・気候変動の課題解決に貢献する企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

当作成対象期間につきましてそれぞれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書 (全体版) をクリック

- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先>

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

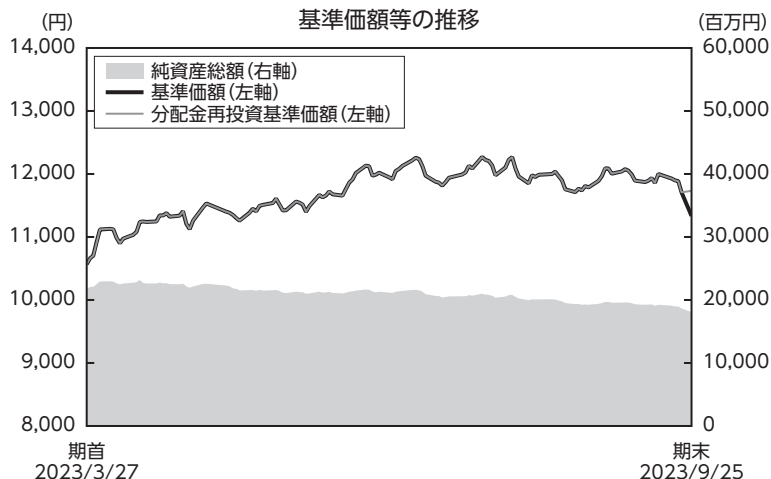
< 3151391・3188555 >

運用経過

基準価額等の推移

第5期首	10,568円
第5期末	11,334円
既払分配金 (税込み)	400円
騰落率	11.0% (分配金再投資ベース)

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2023年3月27日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 2023年5月に、米国ではナスダック総合株価指数が上昇した一方で、ダウ工業株30種平均は下落し、欧州市場はECB(欧州中央銀行)の利上げ継続姿勢や中国の経済回復鈍化に対する懸念などを背景に下落するなど、株式市場間で差異がみられる展開となる中、複数の組入ファンドが米国のテクノロジー関連銘柄より収益をあげたこと
- ② 2023年6月に、米国では、5月のCPI(消費者物価指数)の伸びが前月の水準から減速したことによりFRB(米連邦準備理事会)による利上げ停止への期待が高まり、また欧州でも、堅調な米国市場や中国の景気刺激策への期待などが支援材料となり、欧米の株式市場が上昇したこと
- ③ 当期は為替市場においてユーロ高・円安となったこと

下落要因

- ① 2023年8月から9月にかけて、金融引き締め of 長期化観測を背景に米国の長期金利が一段と上昇し、さらに9月に入ってから米国の暫定予算の不成立や米政府機関閉鎖への懸念なども加わり、欧米の株式市場が下落したこと
- ② 当期は、当ファンドが選好している公益事業などディフェンシブなセクターのパフォーマンスが低迷したこと
- ③ 2023年7月に、為替市場において一時的にユーロ安・円高となったこと

1 万口当たりの費用明細

項 目	第 5 期 (2023年 3月28日 ～2023年 9月25日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	70円 (20) (48) (2)	0.600% (0.174) (0.410) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	1 (1) (1) (0)	0.011 (0.005) (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	71	0.611	
期中の平均基準価額は11,701円です。			

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

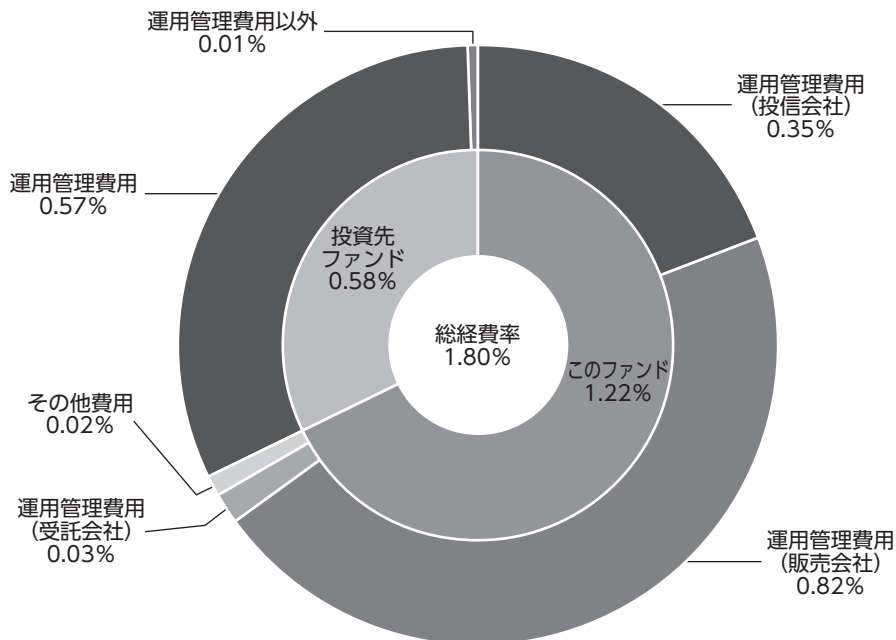
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①このファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

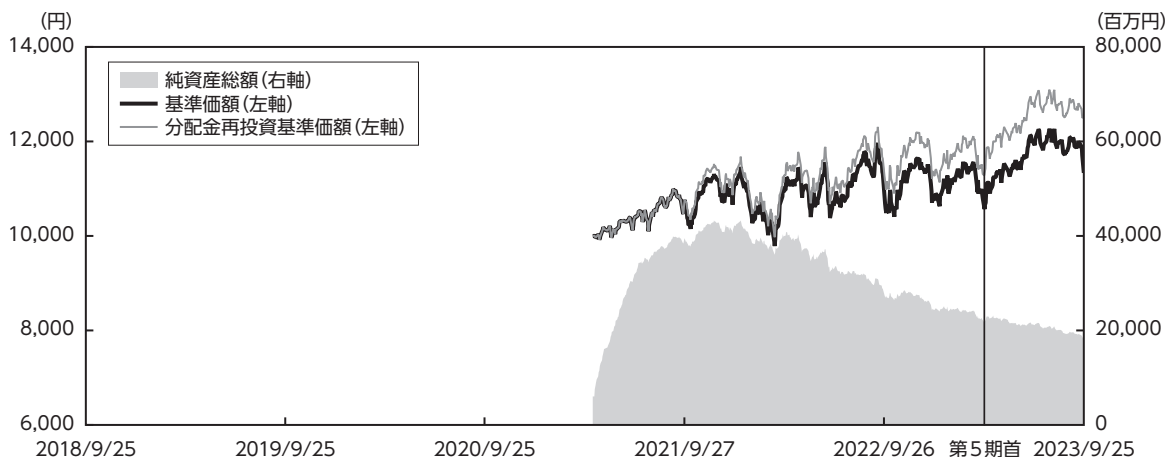
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月25日～2023年9月25日)



※運用実績が5年未満でも横軸は5年間表示しております。

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率

	—	—	2021/4/9 設定日	2021/9/27 決算日	2022/9/26 決算日	2023/9/25 決算日
基準価額 (円)	—	—	10,000	10,523	10,682	11,334
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	200	300	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	—	7.2*	4.4	11.9
純資産総額 (百万円)	—	—	6,028	38,651	27,189	18,069

※設定日から2021年9月27日までの騰落率です。

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

<世界株式市場>

当期の世界株式市場は、期初から2023年7月まで、値動きをとめないながらも上昇基調が継続した後、8月から期末にかけて反落する展開となりました。4月の米国市場は、3月のCPI（消費者物価指数）の減速を受けて、FRB（米連邦準備理事会）による利上げサイクル終了期待から堅調に推移しました。欧州でも、好調な経済指標を受け、株式市場は上昇しました。そして5月に入ると、地域間で差異がみられる展開となりました。米国市場では、ハイテク関連銘柄が好調だったナスダック総合株価指数が上昇した一方で、ダウ工業株30種平均は下落しました。FRBによる利上げ継続観測や債務上限問題への不透明感などが重しとなりました。欧州市場では、ECB（欧州中央銀行）が利上げを継続する姿勢を示したことや、中国の経済回復の鈍化、米国の債務上限問題の行く末に対する懸念などを背景に下落しました。その後6月から7月にかけて、米国市場ではCPIの伸びが市場予想を下回りインフレ鎮静化への期待が高まったことや、7月の欧米の中央銀行による利上げ幅が市場予想並みであったことが好感され、欧米株式市場は上昇しました。また特に米国市場ではAI（人工知能）関連の株式テーマへの注目を背景に、一部のテクノロジー関連銘柄が大きく上昇しました。しかし、8月以降は、FRB高官によるタカ派的な発言などを背景に米国の長期金利は一段と上昇し、9月に入ってからからは米国の暫定予算の不成立や米政府機関閉鎖への懸念なども加わり、欧米の株式市場は反落しました。

<為替市場>

当期の米ドル／円相場は、130円台で始まり、3月の金融システム不安の後退を背景に米ドルが買われ戻される中、日銀が金融緩和維持の姿勢を明確に示したことも円安圧力となり、6月まで米ドルは強含みの展開が続きました。しかし、7月に入ると、日本の金融当局による市場介入に対する警戒感や日銀による金融政策修正への思惑が広がり、円は一時的に反発しました。しかし、日銀による長期金利操作の柔軟化を受けても日本の長期金利は大きく上昇せず、一方で米国の長期金利は上昇を継続したため、米ドルは再び上昇に転じ、148円台で当期末を迎えました。

当期のユーロ／円相場は、140円台で始まり、ECBによる利上げ継続観測を背景にユーロが買われやすい状態が続きました。5月には上値が抑えられる局面もありましたが、6月のECB理事会で利上げ継続の姿勢が鮮明になると、ユーロは再び上昇に転じました。しかし、7月以降は、中国経済の先行き不透明感やドイツの景気見通しの悪化を背景に上値の重い展開となり、158円台で当期末を迎えました。

ポートフォリオ

当ファンドは、世界の環境関連市場の成長を享受する複数の投資信託証券への投資を通じて、環境・気候変動の課題解決に貢献する企業の株式に投資します。当期は6本の投資信託証券への投資を継続し、組入比率の合計を高位に維持しました。また、一定のキャッシュ水準を維持し、KBI Funds ICAV - KBI グローバル・サステナブル・インフラストラクチャー・ファンドを通じたインフラおよび公益事業へのエクスポージャーを選好するなど、ディフェンシブな運用姿勢を継続しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第5期
	(2023年3月28日～2023年9月25日)
当期分配金	400
(対基準価額比率)	(3.409%)
当期の収益	400
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,333

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

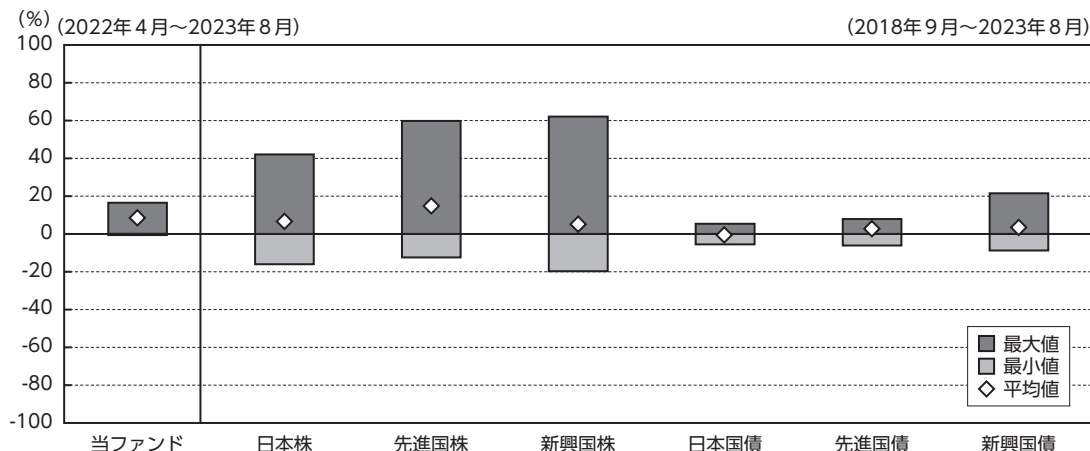
国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の中で「環境」は大きなテーマとされており、また気候変動対策として電力源の脱炭素化を進めることは国際的なコンセンサスです。当ファンドは、脱炭素化、スマートビルディング（高度に情報管理された建物）技術、スマートグリッド（次世代送電網）インフラ、エネルギー貯蔵の利用促進、ディスラプティブ技術（従来の技術や価値基準を覆す革新的な技術）など、鍵となる構造的な成長への取り組みから恩恵を受けることが期待されます。

当ファンドは、「環境」テーマへの投資が長期的に力強い運用成果をもたらすと引き続き考えますが、足元はファンドのキャッシュ水準目標を4%に据え置き、慎重な運用姿勢を継続しています。米国経済は、金融引き締めの実行効果と個人の余剰貯蓄の減少により、2024年初めに緩やかな景気後退に陥る可能性があると考えます。欧州経済も最近の弱い経済指標や中国経済の不振からの影響を考えると、今後の見通しは明るくありません。このような環境下、今後も欧米のインフレ率の動向と金融政策、地政学的問題、その他のマクロ要因を引き続き注視し、より広範なマクロ環境を考慮に入れたポートフォリオ構築を図ってまいります。

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年4月9日から2026年9月25日までです。
運用方針	当ファンドは、アムンディ・グループが運用する投資信託証券への投資を通じて、主として環境・気候変動の課題解決に貢献する企業の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要投資対象	投資信託証券（投資信託および外国投資信託の受益証券ならびに投資証券および外国投資証券）
運用方法	①運用はファンド・オブ・ファンズ方式で行い、実質的な投資は別に定める投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）への投資を通じて行います。 ②指定投資信託証券は、委託者の判断により、変更されることがあります。 ③組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年3月および9月の各25日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として次の方針により分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.4	6.5	14.8	5.2	-0.5	2.9	3.2
最大値	16.5	42.1	59.8	62.1	5.4	7.9	21.5
最小値	-0.6	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 当ファンドについては、2022年4月から2023年8月の1年5ヵ月間、他の代表的な資産クラスについては、2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2023年9月25日現在

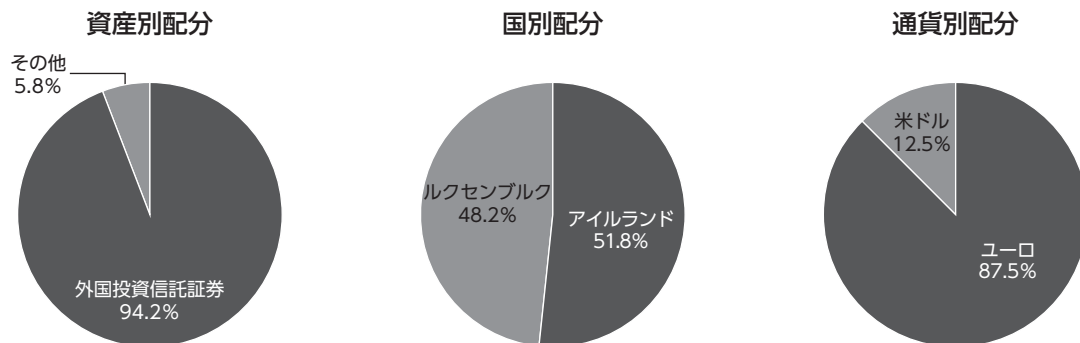
(組入銘柄数：6銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	Amundi Funds グローバル・エコロジー・ESG	ユーロ	20.8%
2	KBI Funds ICAV - KBI グローバル・サステナブル・インフラストラクチャー・ファンド	ユーロ	19.6%
3	KBI Funds ICAV - KBI グローバル・エネルギー・トランジション・ファンド	ユーロ	17.4%
4	CPR Invest - クライメート・アクション	ユーロ	14.7%
5	KBI Funds ICAV - KBI ウォーター・ファンド	米ドル	11.7%
6	CPR Invest - フード・フォー・ジェネレーションズ	ユーロ	9.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第5期末 2023年9月25日
純資産総額	18,069,539,375円
受益権総口数	15,943,132,238口
1万口当たり基準価額	11,334円

※当期間(第5期)中における追加設定元本額は572,047,679円、同解約元本額は5,161,117,612円です。

組入上位ファンドの概要

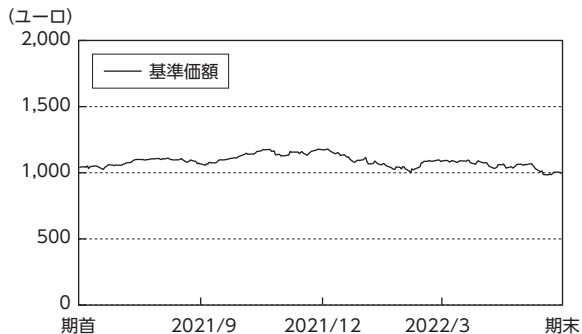
<Amundi Funds グローバル・エコロジー・ESG>

決算日：2022年6月30日

(計算期間：2021年7月1日～2022年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



組入上位10銘柄

2022年6月30日現在

(組入銘柄数：55銘柄)

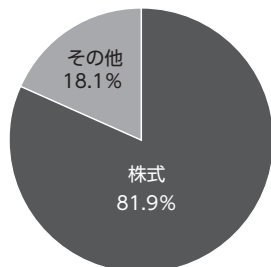
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	CDN PACIFIC RAILWAY LTD	カナダドル	カナダ	3.1%
2	WASTE MANAGEMENT INC	米ドル	アメリカ	2.9%
3	NOVO NORDISK	デンマーク	デンマーク	2.7%
4	LINDE PLC	ユーロ	アイルランド	2.5%
5	CAP GEMINI SE	ユーロ	フランス	2.4%
6	MICROSOFT CORP	米ドル	アメリカ	2.3%
7	SVENSKA CELLULOSA SCA AB	スウェーデン	スウェーデン	2.2%
8	PFIZER INC	米ドル	アメリカ	2.2%
9	PROCTER AND GAMBLE CO	米ドル	アメリカ	2.2%
10	SANOFI	ユーロ	フランス	2.2%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

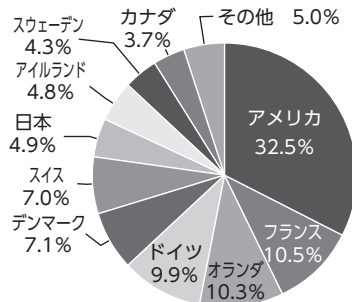
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

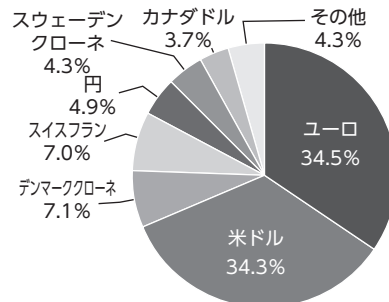
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入上位ファンドの概要

<KBI Funds ICAV - KBI グローバル・サステナブル・インフラストラクチャー・ファンド>

決算日：2022年8月31日

(計算期間：2021年9月1日～2022年8月31日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



組入上位10銘柄

2022年8月31日現在

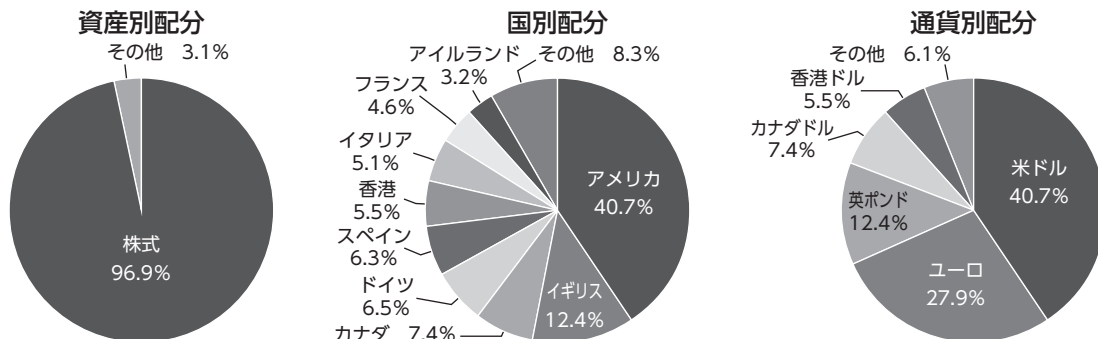
(組入銘柄数：50銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	NEXTERA ENERGY INC COM	米ドル	アメリカ	5.2%
2	ENEL SPA	ユーロ	イタリア	5.0%
3	IBERDROLA SA	ユーロ	スペイン	4.9%
4	VEOLIA ENVIRONNEME	ユーロ	フランス	4.5%
5	SBA COMMUNICATIONS CORP COM	米ドル	アメリカ	3.5%
6	HYDRO ONE LTD COM NPV	カナダドル	カナダ	3.4%
7	ESSENTIAL UTILS INC COM	米ドル	アメリカ	3.4%
8	EQUINIX INC COM PAR	米ドル	アメリカ	3.2%
9	WELLTOWER INC COM REIT	米ドル	アメリカ	3.2%
10	RWE AG NPV	ユーロ	ドイツ	3.1%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入上位ファンドの概要

<KBI Funds ICAV - KBI グローバル・エナジー・トランジション・ファンド>

決算日：2022年8月31日

(計算期間：2021年9月1日～2022年8月31日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移 (組入シェアクラス)



組入上位10銘柄

2022年8月31日現在

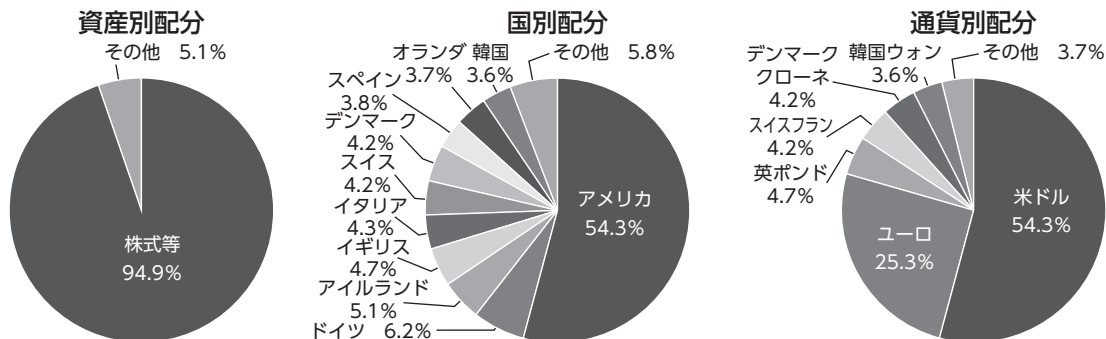
(組入銘柄数：51銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	SUNNOVA ENERGY INTL INC COM	米ドル	アメリカ	4.4%
2	ENEL SPA	ユーロ	イタリア	4.1%
3	IBERDROLA SA	ユーロ	スペイン	3.6%
4	GREENCOAT RENEWABL	ユーロ	アイルランド	3.6%
5	SAMSUNG SDI	韓国ウォン	韓国	3.4%
6	NXP SEMICONDUCTORS N.V. COM STK	米ドル	アメリカ	3.3%
7	ORMAT TECHNOLOGIES INC COM	米ドル	アメリカ	3.3%
8	RWE AG NPV	ユーロ	ドイツ	3.1%
9	FIRST SOLAR INC COM	米ドル	アメリカ	2.8%
10	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	2.6%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

●MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

●NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRFC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRFCに帰属します。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント